

市民が主役の市政を目指して みなさまの思いを市政へ 届けます

大塚まさとし通信

発行：大塚まさとし後援会

会長 桧原 直彦

皆様方のご支援により、見事初陣を飾ることができました。
この間、心暖まる心使い、応援をいただき、人と人とのつながりの大事さを痛感させられました。今改めて、皆様方の期待とその責任の大きさに身のふるえる思いですが、粉骨砕身
皆様方の期待と信頼に応えられるよう一生懸命頑張っていく
所存でありますので、これまで同様、変わらぬご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



「後援会事務所移転のお知らせ」

中津市豊田町14番地の3
中津市職員労働組合内

TEL0979-22-4109

【大塚まさとしの政策】

市民が主役の市政を

“こころ触れ合う、潤いのあるまちづくり”を目指して

1. 中津市の活力を取り戻すために

中津市の活力を取り戻すため、若者が帰って来られる雇用の場の確保や商業、工業、農林漁業の活性化に努めます。

- 若者が中津市に帰ってくるために、企業誘致による雇用の確保を求めています。
- 地元企業のノウハウを活かした地元産業の活性化を提言します。
- 住民参加によるまちづくりや祭りを通じた絆を強め、活力ある地域づくりに努めます。

2. 市民が主人公となる市政をめざして

「住民との協働のまちづくり」の推進により、住民自身がまちづくりに参画し、自ら決定し、自ら実行する「住民自治組織」の確立に努めます。

- 行政の情報公開と説明責任を強化し、あらゆる施策において「住民合意の形成」を図るよう求めています。

3. 歴史と文化、自然の薫るまち・なかつを

「城下町なかつ」として栄えてきた中津市の歴史・文化や風光明媚な名勝耶馬溪を市民の誇りとして自慢できるようなまちづくりをめざします。

- 城下町の風情の残る町並みの保存
- 名勝耶馬溪、棚田などの自然環境の保全

4. おとしよりや子どもたち、体の不自由なみなさんが安心して暮らせるまちに

誰もが安心・安全に住めるまちをつくるためには、セーフティネットとしての福祉施策が不可欠です。「福祉のまち・なかつ」の実現に向けて全力をあげます。

- 安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに努めます。
- 日常生活に必要なお店や病院などが身近にあるコンパクトシティの実現と公共交通の整備を図ります。
- 災害に強いまちづくりとして、ポンプ場の増設など雨水対策の強化を図ります。

5. 財政の健全化と住民主体の行政運営

行財政改革は、市民の意見を反映させ、優先すべき課題の選択と集中を図り、効率的な行政を再編します。

- 財政の健全化と住民主体の行政運営を求めます。
- 公共施設設備に事前・事後評価制度を導入します。

の実現に向けて、頑張ります。